

## 平成30年度全国学力・学習状況調査の分析および考察についてのお知らせ

晩秋の候、皆様におかれましてはご健勝のことと存じます。また、日頃より本校の教育活動にご支援、ご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、6年生を対象に4月に実施されました全国学力・学習状況調査の結果をもとに、課題を分析・考察し、今後の本校の教育活動について力を入れて取り組むこととお知らせ致します。

〈調査結果〉 全国平均のポイントよりも 高い項目 ○ 低い項目△

A問題：基礎知識を問う問題 B問題：活用力を問う問題

### 国語

#### A問題

- 図書館への行き方の説明として適切なものを選択する問題の正答率は100%である。
- 目的に応じて必要な情報を捉えるために文のどこをどのようによめばよいかを選択する。
- 慣用句の意味と使い方として適切なものを選択する。(心を打たれる)
- △文中の主語と述語のつながりが合っていない文を選択し正しく書き直す。
- △文の中で漢字を使う。(せい造, せつ備)(かん理, せつ極的については無回答率20%)

#### B問題

- 話し合いにおける司会の発言の役割として適切なものを選択する。
- 話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして自分の考えを100字以内で書く。
- △「おすすめる文章」を書くときの工夫を捉える。
- △心が引かれた一文とその理由を書き出しの言葉に続けて100字以内で書く。(無回答率18%)

### 算数

#### A問題

- 数量の関係を数直線に表す。
- 答えが $12 \div 0.8$ の式で求められる問題を選ぶなど、小数の除法の意味について理解する。
- 2つのシートの混み具合について正しいものを選ぶ。
- 示された表現方法をもとに、空間の中にあるものの位置を表現する。
- △3桁の整数どうしの大きさを比べ十の位に入る適切な数字を書く。
- △円周率を求める式として正しいものを選ぶ。
- △円の直径の長さが2倍になったとき円周の長さが何倍になるかを選ぶ。
- △示された事柄が両方当てはまるグラフを選び、折れ線グラフの変化の特徴を読み取る。

#### B問題

- 合同な三角形で敷き詰められた模様の中から見いだすことができる図形として正しいものを選ぶ。
- 棒グラフと帯グラフから読み取ることができることを適切に判断する。
- △示された情報を解釈し、条件に合う時間を求める。
- △「32, 40」の2つの数の和が9の段になるわけを、分配法則を用いて表す。
- △4色を順に繰り返してつなげ、輪飾りを1本を作ったときの30個目の折り紙の輪の色を選ぶ。
- △横に並んでいる7つの数の和は真ん中の数の何倍になっているか説明をする。(無回答率20%)
- △横の長さが7mの黒板に輪飾りをつけるために必要な折り紙の枚数が100枚あれば足りるわけを式や言葉で説明する。(無回答率23%)

### 理科

- 川の上流側の雲の様子や下流側の水位の変化から、上流側の天気と下流側の水位の関係について、言えることを選ぶ。
- ろ過の適切な操作方法を身に付けている。
- △調べた結果について考察する際に、問題に対応した視点で分析する。
- △流されてきた土や石を積もらせる水の働きを表す言葉を選ぶ。
- △大雨が降って流れる水の量が増えたときの地面の削られ方を選び、選んだわけを書く。
- △電流の流れ方について予想が確かめられた場合に見通して実験を構想する。
- △実験結果から電流の流れ方についてより妥当な考えに改善する。
- △太陽の1日の位置の変化と光電池に生じる電流の変化の関係を目的に合った物づくりに適用する。
- △食塩を水に溶かしたときの全体の重さを選ぶ。

## 質問紙調査

- 家で自分で計画を立てて勉強している児童は、全国平均を21ポイント上回っている。
- 平日、授業時間以外に1日当たり1時間以上の勉強をしている児童は7割を超えていて、全国平均を8ポイント上回っている。
- 平日、1日当たり1時間以上読書をしている児童は全国平均を6ポイント上回っている。
- 5年生までに受けた授業で、自分の考えがうまく伝わるように工夫して発表していた児童は全国平均を10ポイント上回っている。
- 学級の仲間と話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思うと答えた児童は4割を超えており、全国平均を7ポイント上回っている。
- △自分にはよいところがあると答えた児童は6割強で、全国平均を大きく下回っている。
- △毎日同じ時刻に寝ていると答えた児童は7割であるが、全国平均を7ポイント下回っている。
- △算数の授業で公式やきまりを習うときそのわけを理解するようにしている児童は3割弱で、全国平均を15ポイント下回っている。
- △理科の勉強が好きな児童は4割弱で、全国平均を14ポイント下回っている。

### 以上を踏まえた成果と今後学校として、力を入れたいこと

#### 【成果】

- 平成28年度より研究テーマを算数科とし、【どの子にも分かる授業】【できた喜びを味わえる授業】を目指し授業改善を図ることで、算数科への学ぶ意欲と分かったと実感できる授業になりつつある。
- 落ち着いた学習環境の中で、安心して自分の考えを話したり、仲間の考えを聞いたりすることで、考えを深めたり、広めたりしようとする意欲が高まった。

### 今後学校として力を入れたいこと

- ・今後も、学級やグループの中で自分たちで課題を立て、解決に向けて話し合いながら整理したりそれを表現したりする学習活動を意図的に位置付けた授業を構成する。
- ・相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝える交流活動を大切にして継続的に実践する。
- ・基礎的・基本的な知識、技能の定着を図るための朝学習の継続と、読書習慣を身に付けるための指導改善を図る。
- ・学校行事や諸活動の中で、目標を明確にして一人ひとりの活躍を見届け、よい姿をどんどん認めて、自己肯定感を育てていく。
- ・授業の予習、復習の内容を明らかにした家庭学習を位置付け、自学自習の習慣を育てる。

### ご家庭でお願いしたいこと

#### 家庭はすべての教育の出発点

- ・基本的な生活習慣を身に付ける。(あいさつ・早寝・早起き・朝ごはん・家庭学習時間など)
- ・学習用具を整える。(持ち物・筆箱の中身・適度な長さの鉛筆など)
- ・テレビやゲームの時間などのルールを親子で話し合う。
- ・“自分にはよいところがある”と実感できるようによい姿はほめる。